

注3

大学番号：私220

[平成25年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻

東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻

東洋大学 食環境科学部 健康栄養学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東洋大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 板倉事務部教学課

職名・氏名 カチヨフ ヨシダ クニコ
課長 吉田 邦子

電話番号 0276-82-9110

（夜間） 0276-82-9111

F A X 0276-82-9801

e-mail yoshida_k@toyo.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

【 目 次 】

1. 調査対象大学等の概要等		1 ～ 4
2. 授業科目の概要		5 ～ 2 1
3. 施設・設備の整備状況, 経費		2 2
4. 既設大学等の状況		2 3 ～ 2 8
5. 教員組織の状況		2 9 ～ 5 0
6. 留意事項に対する履行状況等		5 1
7. その他全般的事項		5 2 ～ 5 5

別紙①修了単位数 「新旧対照表」

別紙②設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東洋大学

(2) 大 学 名

東洋大学

(3) 大学の位置

(〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクカワ シンジ) 福 川 伸 次 (平成24年12月)		
学 長	(タケムラ マキオ) 竹 村 牧 男 (平成21年9月)		
学 部 長	(ハヤシ キヨシ) 林 清 (平成25年4月)		
学科長等 (食環境科学 科)	(フクモリ フミヤス) 福 森 文 康 (平成25年4月)		
学科長等 (健康栄養学 科)	(ツジ ヒロミ) 辻 ひろみ (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成 2 3 年度に報告済の内容 → (23)
平成 2 5 年度に報告する内容 → (25)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 学士（食環境科学）	4年	70人	0人 年次人	280人	
食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻 学士（食環境科学）	4年	50人	0人 年次人	200人	
食環境科学部 健康栄養学科 学士（健康栄養学）	4年	100人	0人 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

学 科	対象年度 区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
食 環 境 科 学 科 （ フ ー ド サ イ エ ン ス 専 攻 ）	A 入学定員	70人 (-) [-]	—	人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		1.18倍	
	志願者数	819 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
	受験者数	795 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
	合格者数	221 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
	B 入学者数	83 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
	入学定員超過率 B/A	1.18									

食 環 境 科 学 科 （ ス ポ ー ツ ・ 食 品 機 能 専 攻 ）	A 入学定員	50人	—	人	人	人	人	人	人	1.16倍	
		(—)		()	()	()	()	()	()		
		[—]		[]	[]	[]	[]	[]	[]		
	志願者数	320	—								
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
健 康 栄 養 学 科	受験者数	303	—							1.00倍	
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
	合格者数	150	—								
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
健 康 栄 養 学 科	B 入学者数	58	—							1.00倍	
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
	入学定員超過率 B/A	1.16									
	A 入学定員	100人	—	人	人	人	人	人	人		
		(—)		()	()	()	()	()	()		
健 康 栄 養 学 科		[—]		[]	[]	[]	[]	[]	[]	1.00倍	
	志願者数	825	—								
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
	受験者数	794	—								
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
健 康 栄 養 学 科		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	1.00倍	
	合格者数	206	—								
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
	B 入学者数	100	—								
		(—)	(—)	()	()	()	()	()	()		
健 康 栄 養 学 科		[—]	[—]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	1.00倍	
	入学定員超過率 B/A	1.00									

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

学科等	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
食 環 境 科 学 科 (フ ー ド サ イ エ ン ス 専 攻)	平成22年度 入学者	人	0 人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
				平成23年度	人	人		
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
	平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
	平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
				平成25年度	人	人		
	平成25年度 入学者	83 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
	合 計	83 人	0 人					0 %
食 環 境 科 学 科 (ス ポ ー ツ ・ 食 品 機 能 専 攻)	平成22年度 入学者	人	0 人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
				平成23年度	人	人		
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
	平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
	平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
				平成25年度	人	人		
	平成25年度 入学者	58 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
	合 計	58 人	0 人					0 %
健 康 栄 養 学 科	平成22年度 入学者	人	0 人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
				平成23年度	人	人		
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
	平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
				平成24年度	人	人		
				平成25年度	人	人		
	平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
				平成25年度	人	人		
	平成25年度 入学者	100 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
	合 計	100 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 盤 通 教 育 科 目	哲 学 ・ 思 想	井上円了と東洋大学	1・2・3・4 前		2							兼 1	教育効果を考慮し、開講学期 を前学期に変更 (25)
		生命論	1・2・3・4 後		2		1					兼 1	
		生命倫理	1・2・3・4 前・後		2							兼 1	
		生命哲学	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		哲学入門	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		スポーツ哲学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
	自 然 ・ 環 境 ・ 生 命	現代生物学	1・2・3・4 後		2							兼 1	少数教育実施のため専任教 員採用 (25) 担当：大上安奈 (助教)
		現代化学	1・2・3・4 前		2		1					兼 1	
		現代物理	1・2・3・4 前		2		1					兼 1	
		科学技術論	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		情報処理基礎	1・2・3・4 前		2		1					兼 1	
		情報処理演習	1・2・3・4 後		2		1					兼 1	
		生命科学史	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅰ	1 前		1							兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅱ	1 後		1				1			兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅲ	1 後		1							兼 1	
	数学の世界	1・2・3・4 前		2							兼 1		
	日 本 と 世 界 の 文 化 ・ 歴 史	異文化コミュニケーション	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		文化人類学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		欧米の文学と文化	1・2・3・4 前		2							兼 1	
	現 代 ・ 社 会	経済学入門	1・2・3・4 前・後		2		1						教育効果を考慮し、開講学期 を前・後学期に変更 (25)
		人文地理学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		政治学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		日本国憲法	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		社会学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		法学入門	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		心理学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		異文化と社会事情	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		ソーシャルサーベイ概論	1・2・3・4 前		2							兼 1	
		産官学連携概論	1・2・3・4 後		2							兼 1	
		スポーツ社会学	1・2・3・4 前		2							兼 1	
	ス ポ ー ツ と 健 康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4 前		2		+					兼 1	専任教員の就任辞退による担 当者変更 (25) 授業運営上の調整による担 当者変更 (25) 履修者増の対応のため、学期 を前・後学期に変更 (25) 集中 集中 専任教員の就任辞退 による担当者および開講形態 の変更 (25)
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4 後		2			+				兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅠA (テニス)	1・2・3・4 前・後		1							兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅠB (バレーボール)	1・2・3・4 後		1							兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅡA (サッカー)	1・2・3・4 前		1							兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅡB (バスケットボール)	1・2・3・4 後		1			1				兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)	1・2・3・4 前		1							兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)	1・2・3・4 後		1							兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)	1・2・3・4 前		1		+					兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅵ (器械運動)	1・2・3・4 後		1							兼 1	

基 盤 教 育 科 目	総合	総合Ⅰ	1・2・3・4	前		2						兼 2	メテア
		総合Ⅱ	1・2・3・4	後		2						兼 2 +	メテア 開講コース増に伴う担当者追加 (25)
		レポート記述法	1・2・3・4	後		2		+				兼 1 2	オムニバス 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)
	共通 教 養 科 目	英語Ⅰ	1	前	1							兼 1	
		英語Ⅱ	1	後	1							兼 1	
		英語コミュニケーションⅠ	1	前	1							兼 1	
		英語コミュニケーションⅡ	1	後	1							兼 1	
		TOEIC演習	2	前・後		1						兼 1	
		英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後		1						兼 1	
		イングリッシュ・プラクティス	2	前・後		1						兼 1	
		英語上級Ⅰ	2	前	1							兼 1	
		英語上級Ⅱ	2	後	1							兼 1	
		中国語Ⅰ	1・2・3・4	前	1							兼 1	
		中国語Ⅱ	1・2・3・4	後	1							兼 1	
		ハングルⅠ	1・2・3・4	前	1							兼 1	
		ハングルⅡ	1・2・3・4	後	1							兼 1	
		フランス語Ⅰ	1・2・3・4	前	1							兼 1	
		フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後	1							兼 1	
		スペイン語Ⅰ	1・2・3・4	前	1							兼 1	
		スペイン語Ⅱ	1・2・3・4	後	1							兼 1	
		Extensive Reading in SYDNEY	1・2・3・4	前・後	1							兼 1	前学期聴講者なしにより未開講 (25)
		Field Trips in SYDNEY	1・2・3・4	前・後	1							兼 1	前学期聴講者なしにより未開講 (25)
	社会 人 基 礎 科 目	キャリアデザインⅠ	1	前		2		1					
		キャリアデザインⅡ	2	前		2		1					
留 学 支 援 科 目	英 育 語 科 目 別 教	Special Course in Advanced TOEFL Ⅰ	1・2・3・4	後		2						兼 1	
		Special Course in Advanced TOEFL Ⅱ	未開講 1・2・3・4	前		2						兼 1	学習段階を考慮しH25年度は未開講 (25)
	日 本 語 科 目	Integrated Japanese Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前		5						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Integrated Japanese Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後		5						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Japanese Reading and CompositionⅠ	未開講 1・2・3・4	前		2						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Japanese Reading and CompositionⅡ	未開講 1・2・3・4	後		2						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Kanji Literacy Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Kanji Literacy Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Project Work Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Project Work Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Japanese Listening ComprehensionⅠ	未開講 1・2・3・4	前		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Japanese Listening ComprehensionⅡ	未開講 1・2・3・4	後		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Japanese Culture Ⅰ	未開講 1・2・3・4	前		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
		Japanese Culture Ⅱ	未開講 1・2・3・4	後		1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)

専門科目	必修	基礎化学	1	前	2		1					専攻における重要性を考慮し 選択必修から必修に区分変更 (25)
		化学実験	1	前	2		2					
		基礎微生物学	1	後	2			1				身分昇格のため (25) 担当：佐藤順 (教授)
		生物学	1	後	2		1					
		フードサイエンスの化学	1	後	2	2	1					
		生物学実験	2	前	3		2					
		基礎生化学	2	前	2		1					
		フードサイエンス実験Ⅰ	2	後	3		2 +	1				
		基礎栄養学	2	後	2		1					
		生命科学英語Ⅰ	2	後	2		5	2				
		フードサイエンス実験Ⅱ	3	前	3		1	1				
		食品衛生学	3	前	2			1				
		食品微生物利用学	3	前	2			1				
		食品技術者と倫理	3	後	2		1					
		生命科学英語Ⅱ	3	前	2		4	2				
		食環境科学輪講Ⅰ	4	前	2		9	4				
		卒業研究	4	前	2		9	4				
		卒業論文	4	後	2		9	4				
専門科目	基礎	基礎生物学	1	前		2	1					専攻における重要性を考慮し 選択必修から必修に区分変更 (25)
		物理Ⅰ	1	前		2	1					
		生物統計学	1	後		2		1				
		フードサイエンスの化学	+	後		2	+					
		機器分析	2	前		2		1				
		食品分析学概論	2	前		2	1					
		フードスペシャリスト特別講義	2	前		2		1				履修内容に即した科目名称に 変更 (25)
		有機化学Ⅱ 食品有機化学	2	前		2		1				
		食品流通経済論	2	前		2	1					兼 1
		公衆衛生学	2	前		2						
		植物バイオテクノロジー概論	2	後		2	1					
		食品科学特別講義	2	後		2	1					
		分子生物学概論	2	後		2	1					
		食品バイオテクノロジー	3	前		2	1					
		食品官能評価概論	3	前		2	1					
		生物資源利用学	3	前		2	1					
		応用栄養学	3	前		2		1				
		食品微生物制御学	3	後		2		1				
		食品添加物概論	3	後		2	1					
		応用酵素学	3	後		2	1					
		実務研修	3	後		2	1					
		生体高分子化学	3	後		2	1					
		知的財産所有権法	3	後		2						兼 1
		食品加工貯蔵学	3	後		2		1				
		食環境科学輪講Ⅱ	4	後		2	9	4				

門 科 目	択	人体の構造と機能	1	前		2						兼 1	
	必	地学Ⅰ	1	後		2		1					専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
目 修		物理Ⅱ	1	後		2		1					専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	1	後		2		1	1				専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
専 門 科 学		無機化学	1	後		2						兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学Ⅰ 有機化学	1	後		2						兼 1	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)
専 門 科 学		環境修復学	1	後		2						兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		食育論	1	前		2			1				
専 門 科 学		フードコーディネータ論	1	後		2						兼 1	
		食品学概論	2	前		2		1					
専 門 科 学		基礎細胞生物学	2	前		2		1					
		調理科学実習	2	前		2			1			兼 1	
専 門 科 学		フードエンジニアリング	2	前		2		1					
		食品物性論	2	前		2		1					
専 門 科 学		食品品質管理学	2	前		2		1					
		調理と美味しさの科学	2	後		2			1				
専 門 科 学		食品化学	2	後		2			1				
		機能食品科学	3	前		2			1				
専 門 科 学		食品安全学	3	前		2			1				
		プロバイオティクス	3	前		2		1					
専 門 科 学		食品検査概論	3	前		2		1					
		ファイトセラピー論	3	前		2		1					
専 門 科 学		HACCP論	3	後		2			1				
		予防・臨床栄養学	3	後		2		1					
専 門 科 学	選	スポーツと生理学	1	前		2		+				兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		エコシステム学	1	前		2						兼 1	
専 門 科 学		微分積分学	1	前		2						兼 1	
		地学Ⅰ	+	後		2		+					専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
専 門 科 学		物理Ⅱ	+	後		2		+					専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	+	後		2		+	+				専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
専 門 科 学		無機化学	+	後		2						兼 +	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学Ⅰ 有機化学	+	後		2						兼 +	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)
専 門 科 学		スポーツと栄養学	1	後		2						兼 1	
		解析学	1	後		2						兼 1	
専 門 科 学		環境修復学	+	後		2						兼 +	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		地学Ⅱ	2	前		2		1					
専 門 科 学		味とニオイの科学	2	前		2						兼 1	
		ゲノム科学	2	前		2						兼 1	
専 門 科 学		微生物利用学	2	前		2						兼 1	
		植物生理学	2	前		2						兼 1	
専 門 科 学		動物生理学	2	後		2						兼 1	
		物理化学	2	後		2						兼 1	

目 択	微生物生理学	2	後	2						兼 1	※実験
	地学概論（実験を含む）	2	後	2						兼 1	
	地域産業論	2	後	2	1						
	生物有機化学	2	後	2						兼 1	
	植物育種学	3	前	2						兼 1	
	遺伝子工学	3	前	2						兼 1	
	スパイスの科学	3	前	2						兼 1	
	マーケティング入門	3	前	2	1						
	香粧品化学	3	前	2						兼 1	
	微生物生態学	3	前	2						兼 1	
	スポーツと医学	3	前	2						兼 1	
	ソムリエ講座	3	前	2						兼 1	
	感染症学	3	後	2						兼 1	
	環境分析化学	3	後	2						兼 1	
	バイオマス	3	後	2						兼 1	
	タンパク質工学	3	後	2						兼 1	
	バイオエネルギー	3	後	2						兼 1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 21	科目 154	科目 0	科目 175	科目 22 [1]	科目 153 [△1]	科目 0 []	科目 175 []	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I（前年度秋学期開講）より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もいないため未開講。代替なし。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 盤 通 教 育 科 目	哲 学 ・ 思 想	井上円了と東洋大学	1・2・3・4	前	2							兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (25)
		生命論	1・2・3・4	後	2		1					兼 1	
		生命倫理	1・2・3・4	前後	2							兼 1	
		生命哲学	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		哲学入門	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		スポーツ哲学	1・2・3・4	前	2							兼 1	
	自 然 ・ 環 境 ・ 生 命	現代生物学	1・2・3・4	後	2							兼 1	少人数教育実施のため専任教員採用 (25) 担当：大上安奈 (助教)
		現代化学	1・2・3・4	前	2		1					兼 1	
		現代物理	1・2・3・4	前	2		1					兼 1	
		科学技術論	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		情報処理基礎	1・2・3・4	前	2		1					兼 1	
		情報処理演習	1・2・3・4	後	2		1					兼 1	
		生命科学史	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	前	1							兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	後	1					1		兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅲ	1	後	1							兼 1	
	数学の世界	1・2・3・4	前	2							兼 1		
	日 本 と 世 界 の 文 化 ・ 歴 史	異文化コミュニケーション	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		文化人類学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		欧米の文学と文化	1・2・3・4	前	2							兼 1	
	現 代 ・ 社 会	経済学入門	1・2・3・4	前後	2		1						教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (25)
		人文地理学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		政治学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		日本国憲法	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		社会学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		法学入門	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		心理学	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		異文化と社会事情	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		ソーシャルサーベイ概論	1・2・3・4	前	2							兼 1	
		産官学連携概論	1・2・3・4	後	2							兼 1	
		スポーツ社会学	1・2・3・4	前	2							兼 1	
	ス ポ ー ツ と 健 康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4	前	2		+					兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4	後	2			+				兼 1	授業運営上の調整による担当者変更 (25)
		スポーツの理論と実際Ⅰ A (テニス)	1・2・3・4	前後	1							兼 1	履修者増の対応のため、学期を前・後学期に変更 (25)
		スポーツの理論と実際Ⅰ B (バレーボール)	1・2・3・4	後	1							兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅱ A (サッカー)	1・2・3・4	前	1							兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅱ B (バスケットボール)	1・2・3・4	後	1			1				兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)	1・2・3・4	前	1							兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)	1・2・3・4	後	1							兼 1	集中
		スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)	1・2・3・4	前	1			+				兼 1	集中 専任教員の就任辞退による担当者および開講形態の変更 (25)
		スポーツの理論と実際Ⅵ (器械運動)	1・2・3・4	後	1							兼 1	
	総 合	総合Ⅰ	1・2・3・4	前	2							兼 2	メディア
		総合Ⅱ	1・2・3・4	後	2							兼 2	メディア 開講コース増に伴う担当者追加 (25)
		レポート記述法	1・2・3・4	後	2			+				兼 1	オムニバス 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)

基 盤 教 育 科 目	共通教養科目	文化間コミュニケーション	英語Ⅰ	1	前	1									兼1	
			英語Ⅱ	1	後	1									兼1	
			英語コミュニケーションⅠ	1	前	1									兼1	
			英語コミュニケーションⅡ	1	後	1									兼1	
			TOEIC演習	2	前・後		1								兼1	
			英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後		1								兼1	
			イングリッシュ・プラクティス	2	前・後		1								兼1	
			英語上級Ⅰ	2	前		1								兼1	
			英語上級Ⅱ	2	後		1								兼1	
			中国語Ⅰ	1・2・3・4	前		1								兼1	
			中国語Ⅱ	1・2・3・4	後		1								兼1	
			ハングルⅠ	1・2・3・4	前		1								兼1	
			ハングルⅡ	1・2・3・4	後		1								兼1	
			フランス語Ⅰ	1・2・3・4	前		1								兼1	
			フランス語Ⅱ	1・2・3・4	後		1								兼1	
			スペイン語Ⅰ	1・2・3・4	前		1								兼1	
			スペイン語Ⅱ	1・2・3・4	後		1								兼1	
			Extensive Reading in SYDNEY	1・2・3・4	前・後		1								兼1	前学期聴講者なしにより未開講 (25)
			Field Trips in SYDNEY	1・2・3・4	前・後		1								兼1	前学期聴講者なしにより未開講 (25)
留 学 支 援 科 目	社会人基礎科目		キャリアデザインⅠ	1	前		2		1							
			キャリアデザインⅡ	2	前		2		1							
	英語特別教育	英語特別教育	Special Course in Advanced TOEFLⅠ	1・2・3・4	後		2								兼1	
			Special Course in Advanced TOEFLⅡ	未開講 1・2・3・4	前		2								兼1	学習段階を考慮しH25年度は未開講 (25)
		日本語科目	Integrated JapaneseⅠ	未開講 1・2・3・4	前		5								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Integrated JapaneseⅡ	未開講 1・2・3・4	後		5								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Reading and CompositionⅠ	未開講 1・2・3・4	前		2								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Reading and CompositionⅡ	未開講 1・2・3・4	後		2								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Kanji LiteracyⅠ	未開講 1・2・3・4	前		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Kanji LiteracyⅡ	未開講 1・2・3・4	後		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Project WorkⅠ	未開講 1・2・3・4	前		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Project WorkⅡ	未開講 1・2・3・4	後		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Listening ComprehensionⅠ	未開講 1・2・3・4	前		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Listening ComprehensionⅡ	未開講 1・2・3・4	後		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese CultureⅠ	未開講 1・2・3・4	前		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese CultureⅡ	未開講 1・2・3・4	後		1								兼1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
専 門 科 目	必修		基礎化学Ⅰ	1	前	2			1							履修内容に即した科目名称に変更 (25)
			基礎化学													誤記入による単位数変更 (25)
			化学実験	1	前	2			2							
			基礎微生物学	1	後	2				1						
			生物学	1	後	2				1						
			人体の構造と機能Ⅰ	1	前	2									兼1	
			人体の構造と機能Ⅱ	1	後	2									兼1	
			物理実験	1	後	2	2		1	1						専攻における重要度から選択より必修へ科目区分変更 (25)
			基礎生化学	2	前	2			1							
			フードサイエンス実験Ⅰ	2	後	3			2	1						身分昇格のため (25) 担当：佐藤順（教授）
			基礎栄養学	2	後	2			1							
			生命科学英語Ⅰ	2	後	2			5	2						
			公衆衛生学	2	前	2									兼1	
			運動生理学Ⅰ	2	前	2			1							
			運動生理学Ⅱ	2	後	2			1							
			生理生化学Ⅰ	3	前	2			1							
			生理生化学Ⅱ	3	後	2			1							
			食品衛生学	3	前	2				1						
			食品技術者と倫理	4	後	2			1							
			応用栄養学	4	前	2				1						

専 門 科 目	選 択 必 修	物理Ⅰ	1	前	2	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
------------------	------------------	-----	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

専 門 科 目	選	微分積分学	1	前	2							兼 1	
		地学Ⅰ	4	後	2		4						専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理Ⅱ	4	後	2		4						専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	4	後	2		4	4					専攻における重要度から必修へ科目区分変更 (25)
		無機化学	4	後	2							兼 4	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学Ⅰ 有機化学	4	後	2							兼 4	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		スポーツ救急法演習	1	後	2		4	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		地学Ⅱ	2	前	2		1						
		味とニオイの科学	2	前	2							兼 1	
		植物育種学	2	前	2							兼 1	
		生物学実験	2	前	3		2						
		機器分析	2	前	2				1				
		調理科学実習	2	前	2				1			兼 1	
		フードエンジニアリング	2	前	2		1						
		食品物性論	2	前	2		1						
		微生物利用学	2	前	2							兼 1	
		動物生理学	2	後	2							兼 1	
		物理化学	2	後	2							兼 1	
		微生物生理学	2	後	2							兼 1	
	択	地学概論（実験を含む）	2	後	2							兼 1	※実験
		地域産業論	2	後	2		1						
		分子生物学概論	2	後	2		1						
		調理と美味しさの科学	2	後	2			1					
		遺伝子工学	3	前	2							兼 1	
		スパイスの科学	3	前	2							兼 1	
		マーケティング入門	3	前	2		1						
		生物有機化学	2	後	2							兼 1	
		化粧品化学	3	前	2							兼 1	
		生命科学英語Ⅱ	3	前	2		4	2					
		ファイトセラピー論	3	前	2		1						
		プロバイオティクス	3	前	2		1						
		生物資源利用学	3	前	2		1						
		運動生理学実習	3	前	1		1						
		微生物生態学	3	前	2							兼 1	
		食品微生物利用学	3	前	2			1					
		ソムリエ講座	3	前	2							兼 1	
		感染症学	3	後	2							兼 1	
		予防・臨床栄養学	3	後	2		1						
		食品添加物概論	3	後	2		1						
		応用酵素学	3	後	2		1						
		生体高分子化学	3	後	2		1						
		知的財産所有権法	3	後	2							兼 1	
		環境分析化学	3	後	2							兼 1	
		植物生理学	2	前	2							兼 1	
		タンパク質工学	3	後	2							兼 1	
		卒業研究	4	前	2		9	4					
		卒業論文	4	後	2		9	4					

- (注) ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 2 2	科目 1 6 0	科目 0	科目 1 8 2	科目 2 3 [1]	科目 1 5 9 [△ 1]	科目 0 []	科目 1 8 2 []	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I（前年度秋学期開講）より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もいないため未開講。代替なし。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<食環境科学部 健康栄養学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 盤 教 育 科 目	哲 学 ・ 思 想	井上円了と東洋大学	1・2・3・4	前		2					兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (25)
		生命論	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		生命倫理	1・2・3・4	前・後		2					兼 1	
		生命哲学	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		哲学入門	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		スポーツ哲学	1・2・3・4	前		2					兼 1	
	自 然 ・ 環 境 ・ 生 命	現代生物学	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		現代化学	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		現代物理	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		科学技術論	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		情報処理基礎	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		情報処理演習	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		生命科学史	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	前		1					兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	後		1					兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅲ	1	後		1					兼 1	
		数学の世界	1・2・3・4	前		2					兼 1	
	日 本 と 世 界 の 文 化 ・ 歴 史	異文化コミュニケーション	1・2・3・4	前		2		+			兼 1	担当教員の開講数調整のため担当者変更 (25)
		文化人類学入門	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4	前		2					兼 1	担当教員の業績追加による身分昇格 (25)
		欧米の文学と文化	1・2・3・4	前		2	1	+				
	現 代 ・ 社 会	経済学入門	1・2・3・4	前・後		2					兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (25)
		人文地理学入門	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		政治学入門	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		日本国憲法	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		社会学入門	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		法学入門	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		心理学	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		異文化と社会事情	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		ソーシャルサーベイ概論	1・2・3・4	前		2					兼 1	
		産官学連携概論	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		スポーツ社会学	1・2・3・4	前		2					兼 1	
	ス ポ ー ツ と 健 康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4	前		2					兼 1	履修者増の対応のため、学期を前・後学期に変更 (25)
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4	後		2					兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅠA (テニス)	1・2・3・4	前・後		1					兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅠB (バレーボール)	1・2・3・4	後		1					兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅡA (サッカー)	1・2・3・4	前		1					兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅡB (バスケットボール)	1・2・3・4	後		1					兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)	1・2・3・4	前		1					兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)	1・2・3・4	後		1					兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)	1・2・3・4	前		1					兼 1	
	総 合	総合Ⅰ	1・2・3・4	前		2					兼 2	メデアイ 開講コース増に伴う担当者追加 (25) ホームベース 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)
		総合Ⅱ	1・2・3・4	後		2					兼 2	
		レポート記述法	1・2・3・4	後		2					兼 1	

基 盤 教 育 科 目	共 通 教 養 科 目	文 化 間 コ ミュ ニ ケー ション	英語 I	1	前	1			1	+				兼 1	担当教員の業績追加による身分昇格 (25)
			英語 II	1	後	1			1	+				兼 1	担当教員の業績追加による身分昇格 (25)
			英語コミュニケーション I	1	前	1								兼 1	
留 学 支 援 科 目	英 語 特 別 教 育	日 本 語 科 目	英語コミュニケーション II	1	後	1								兼 1	
			TOEIC演習	2	前・後		1							兼 1	
			英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後		1							兼 1	
専 門 科 目	必 修		イングリッシュ・プラクティス	2	前・後		1							兼 1	
			英語上級 I	2	前		1							兼 1	
			英語上級 II	2	後		1							兼 1	
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		中国語 I	1・2・3・4	前		1							兼 1	
			中国語 II	1・2・3・4	後		1							兼 1	
			ハングル I	1・2・3・4	前		1							兼 1	
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		ハングル II	1・2・3・4	後		1							兼 1	
			フランス語 I	1・2・3・4	前		1							兼 1	
			フランス語 II	1・2・3・4	後		1							兼 1	
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		スペイン語 I	1・2・3・4	前		1							兼 1	
			スペイン語 II	1・2・3・4	後		1							兼 1	
			Extensive Reading in SYDNEY	1・2・3・4	前・後		1		1						前学期聴講者なしにより未開講 (25)
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		Field Trips in SYDNEY	1・2・3・4	前・後		1		1						前学期聴講者なしにより未開講 (25)
			キャリアデザイン I	1	前		2		1					兼 1	学科主任担当科目のため担当者変更 (25)
			キャリアデザイン II	2	前		2		1						
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		Special Course in Advanced TOEFL I	1・2・3・4	後		2							兼 1	
			Special Course in Advanced TOEFL II	未開講 1・2・3・4	前		2							兼 1	学習段階を考慮しH25年度は未開講 (25)
			Integrated Japanese I	未開講 1・2・3・4	前		5							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		Integrated Japanese II	未開講 1・2・3・4	後		5							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Reading and Composition I	未開講 1・2・3・4	前		2							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Reading and Composition II	未開講 1・2・3・4	後		2							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		Kanji Literacy I	未開講 1・2・3・4	前		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Kanji Literacy II	未開講 1・2・3・4	後		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Project Work I	未開講 1・2・3・4	前		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		Project Work II	未開講 1・2・3・4	後		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Listening Comprehension I	未開講 1・2・3・4	前		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Listening Comprehension II	未開講 1・2・3・4	後		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
留 学 支 援 科 目	日 本 語 科 目		Japanese Culture I	未開講 1・2・3・4	前		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
			Japanese Culture II	未開講 1・2・3・4	後		1							兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25)
専 門 科 目	必 修		調理学実習 I	1	前	1				1			1	兼 1	
			基礎化学 I	1	前	2				1			1		
			食品分析学	1	前	2			1						
専 門 科 目	必 修		生化学	1	前	2			+	1				兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
			解剖生理学	1	前	2			+	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
			基礎栄養学 I	1	前	2			1						
専 門 科 目	必 修		社会・環境と健康 I	1	後	2			+	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
			食品学 I	1	後	2			1						
			食品学実験 I	2	前	1			1						
専 門 科 目	修		公衆栄養学 I	2	前	2				1					
			給食経営管理論 I	2	後	2			1						
			臨床栄養学 I	3	前	2			1						
専 門 科 目	修		臨床栄養学実習 I	3	前	1			1						
			栄養マネジメントの実践	3	後	2				1					
			公衆栄養学実習	3	後	1				1					
専 門 科 目	修		栄養教育論 I	3	前	2				1					
			臨床栄養学実習 II	4	前・後	1			1						
			総合演習	4	前・後	2			2	1					

[illegible]

[illegible]

(2) 授業科目数

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I（前年度秋学期開講）より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もいないため未開講。代替なし。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地の用途変更 (25) 白山第2校舎の利用停 止に伴う減 (25)			
	校 舎 敷 地	290,970.80㎡ 290,971.80㎡	0㎡	0㎡	290,970.80㎡ 290,971.80㎡				
	運動場用地	471,911.81㎡ 474,091.74㎡	0㎡	0㎡	471,911.81㎡ 474,091.74㎡				
	小 計	762,882.61㎡	0㎡	0㎡	762,882.61㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	762,882.61㎡ 765,063.54㎡	0㎡	0㎡	762,882.61㎡ 765,063.54㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	233,150.22㎡ 234,827.43㎡ (233,150.22㎡) (234,827.43㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	233,150.22㎡ 234,827.43㎡ (233,150.22㎡) (234,827.43㎡)	白山第2校舎利用停 止に伴う面積変更 (25)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体の数値として 算出していたため、A 対象学部の数値に訂正 (25) 生命科学部と共用			
	24室 267室	24室 86室	80室 477室	2室 39室 1 (補助職員59人)	2室 7室 (補助職員0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	食環境科学部 食環境科学科			17 室					
	食環境科学部 健康栄養学科			14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	生命科学部と共用 見直しによる修正 (25)	
	食環境科学部 食環境科学科 健康栄養学科	70,705 [8,977] 70,699 [8,863] (64,696 [9,113]) (60,747 [8,977])	0 (0)	0 (0)	0 (0)	465 449 465 (449)	0 (0)		
	計	70,705 [8,977] 70,699 [8,863] (64,696 [9,113]) (60,747 [8,977])	[0] (0)	[0] (0)	0 (0)	465 449 465 (449)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体の数値として 算出していたため、A 対象学部の数値に訂正 (25)		
	2,010㎡ 17,154.34㎡		250席 2,601席		78,150冊 1,807,150冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	24,950.01 ㎡		野 球 場 、 サ ッ カ ー 場 テ ニ ス コ ー ト 等						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	計画修正に伴う変更 (25)
		教員 1 人当り研究費等	千円 教 授：694 准教授：642 講 師：589	千円 教 授：694 准教授：642 講 師：589	図 書 購 入 費 食環境科学部 食環境科学科 健康栄養学科	4,727千円	1,774千円 2,692千円	9,701千円	
		共 同 研 究 費 等	55,000千円	55,000千円	設備購入費	9,603千円 2,718千円	4,700千円 4,255千円	13,460千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,550千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入等ならびに国庫からの補助金収入によって維持を図る					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		東洋大学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
大学院修士・博士前期課程 文学研究科								東京都文京区 白山5丁目28番20号		
哲学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	1.40	昭和27 年度			
インド哲学仏教学専攻	2	4	—	8	修士 (文学)	1.50	昭和27 年度			
国文学専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	0.50	昭和27 年度			
中国哲学専攻	2	4	—	8	修士 (文学)	0.50	昭和29 年度			
英文学専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.30	昭和31 年度			
史学専攻	2	6	—	12	修士 (文学)	0.74	昭和42 年度			
教育学専攻	2	20	—	40	修士 (文学)	0.22	平成6 年度			
英語コミュニケーション専攻	2	10	—	20	修士 (英語コミュ ニケーション)	0.40	平成16 年度			
社会学研究科										
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会 学)	0.60	昭和34 年度			
社会福祉学専攻	2	—	—	—	修士 (社会福祉 学)	—	昭和41 年度		平成18年4月より学 生募集停止	
福祉社会システム専攻	2	—	—	—	修士(社会 学)	—	平成8 年度		平成18年4月より学 生募集停止	
社会心理学専攻	2	12	—	24	修士 (社会心理 学)	0.24	平成16 年度			
法学研究科										
私法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.80	昭和39 年度			
公法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.85	昭和51 年度			
経営学研究科										
経営学専攻	2	10	—	20	修士 (経営学)	1.00	昭和47 年度			
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	2	20	—	40	修士 (経営学)	0.52	平成18 年度			
マーケティング専攻	2	10	—	20	修士 (マーケティ ング)	0.95	平成22 年度			
工学研究科										
機能システム専攻	2	24	—	48	修士 (工学)	0.83	平成17 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地		
バイオ・応用化学専攻	2	20	—	40	修士 (工学)	0.52	平成17 年度			
環境・デザイン専攻	2	18	—	36	修士 (工学)	0.88	平成17 年度			
情報システム専攻	2	23	—	46	修士 (工学)	0.60	平成17 年度			

経済学研究科 経済学専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	0.45	昭和51	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成25年4月入学定 員変更（15→20）
公民連携専攻	2	30	—	60	修士 (経済学)	0.54	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号 東京都千代田区 大手町2丁目2番1 号	
国際地域学研究科 国際地域学専攻	2	15	—	30	修士 (国際地域 学)	0.69	平成13 年度		
国際観光学専攻	2	10	—	20	修士 (国際観光 学)	0.50	平成17 年度		
生命科学研究所 生命科学生命科学専攻	2	20	—	35	修士 (生命科 学)	1.70	平成13 年度	群馬県邑楽郡板倉 町泉野1丁目1番1 号	
福祉社会デザイン研究科 社会福祉学専攻	2	20	—	40	修士(社会 福祉学)又 は修士(ソ ーシャル ワーク)	0.55	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
福祉社会システム専攻	2	20	—	40	修士(社会 学)又は修 士(社会福 祉学)	0.30	平成18 年度		
ヒューマンデザイン専攻	2	20	—	40	修士(社会 福祉学)又 は修士(健 康デザイ ン学)	0.30	平成18 年度	埼玉県朝霞市岡 48番1号	
人間環境デザイン専攻	2	10	—	20	修士(人間 環境デザイ ン学)	0.50	平成21 年度		
学際・融合科学研究科 バイオ・ナノサイエンス融合専攻	2	12	—	24	修士(バイ オ・ナノサイ エンス融合)	1.29	平成23 年度	埼玉県川越市大字 鯉井字中野台2100番地	
大学院博士後期課程 文学研究科 哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.22	昭和43 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成18年4月より学 生募集停止
インド哲学仏教学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.33	昭和29 年度		
国文学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	1.10	昭和29 年度		
中国哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	平成11 年度		
英文学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.33	昭和39 年度		
史学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.22	平成11 年度		
教育学専攻	3	4	—	12	博士 (文学)	0.33	平成11 年度		
英語コミュニケーション専攻	3	5	—	15	博士 (英語コミュ ニケーション)	0.13	平成19 年度		
社会学研究科 社会学専攻	3	3	—	9	博士 (社会学)	0.77	昭和34 年度		
社会心理学専攻	3	5	—	15	博士 (社会心理 学)	0.13	平成18 年度		
社会福祉学専攻	3	—	—	—	博士 (社会福祉 学)	—	昭和53 年度		

法学研究科									
私法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.13	昭和41 年度		
公法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.20	平成12 年度		
経営学研究科									
経営学専攻	3	5	—	15	博士(経営 学)	0.13	平成11 年度		
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	3	5	—	15	博士(経営 学)または 博士(会 計・ファイ ナンス)	0.20	平成22 年度		
マーケティング専攻	3	3	—	6	博士 (マーケティング)	0.00	平成24 年度		
工学研究科									
機能システム専攻	3	6	—	18	博士 (工学)	0.10	平成17 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
バイオ・応用化学専攻	3	6	—	18	博士 (工学)	0.22	平成17 年度		
環境・デザイン専攻	3	6	—	18	博士 (工学)	0.10	平成17 年度		
情報システム専攻	3	6	—	18	博士 (工学)	0.22	平成17 年度		
経済学研究科									
経済学専攻	3	3	—	9	博士 (経済学)	0.55	昭和53 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学研究科									
国際地域学専攻	3	5	—	15	博士 (国際地域 学)	0.26	平成15 年度		
国際観光学専攻	3	3	—	9	博士 (国際観光 学)	0.55	平成23 年度		
生命科学研究科									
生命科学専攻	3	4	—	12	博士 (生命科 学)	0.41	平成15 年度	群馬県邑楽郡板倉 町泉野1丁目1番1 号	
福祉社会デザイン研究科									
社会福祉学専攻	3	5	—	15	博士(社会 福祉学)又 は博士 (ソーシャル ワーク)	0.73	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
ヒューマンデザイン専攻	3	5	—	15	博士(社会 福祉学)又 は博士(健 康デザイン 学)	0.60	平成18 年度	埼玉県朝霞市岡 48番1号	
人間環境デザイン専攻	3	4	—	12	博士 (人間環境 デザイン学)	0.08	平成21 年度		
学際・融合科学研究科									
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	3	4	—	12	博士(バイ オ・ナノサイ エンス融合)	0.83	平成19 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
専門職大学院									
法務研究科 法務専攻(法科大学院)	3	40	—	120	法務博士 (専門職)	0.22	平成16 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	

文学部 第1部						1.18		東京都文京区	
哲学科	4	100	—	250	学士 (文学)	1.15	昭和24 年度	白山5丁目28番20号	平成25年度より入学 定員変更(50→100)
東洋思想文化学科	4	100	—	100	学士 (文学)	1.19	平成25 年度		
インド哲学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和24 年度		平成25年度より学生 募集停止
中国哲学文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和24 年度		平成25年度より学生 募集停止
日本文学文化学科	4	190	—	760	学士 (文学)	1.21	平成12 年度		
英米文学科	4	120	—	480	学士 (文学)	1.15	昭和24 年度		
英語コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士 (文学)	1.19	平成12 年度		
史学科	1	110	—	440	学士 (文学)	1.20	昭和24 年度		
教育学科						1.11	昭和39 年度		
人間発達専攻	4	60	—	240	学士 (教育学)	1.24	平成20 年度		
初等教育専攻	4	50	—	200	学士 (教育学)	0.97	平成20 年度		
経済学部 第1部						1.16			
経済学科	4	230	—	920	学士 (経済学)	1.14	昭和25 年度		
国際経済学科	4	175	—	700	学士 (経済学)	1.19	平成12 年度		
総合政策学科	4	170	—	680	学士 (経済学)	1.17	平成12 年度		
経営学部 第1部						1.18			
経営学科	4	310	—	1240	学士 (経営学)	1.19	昭和41 年度		
マーケティング学科	4	150	—	600	学士 (経営学)	1.13	昭和41 年度		
会計ファイナンス学科	4	210	—	840	学士 (経営学)	1.21	平成18 年度		
法学部 第1部						1.18			
法律学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.19	昭和31 年度		
企業法学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.18	昭和40 年度		
社会学部 第1部						1.16			
社会学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.14	昭和34 年度		
社会文化システム学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.13	平成12 年度		
メディアコミュニケーション学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.18	平成12 年度		
社会心理学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.18	平成12 年度		
社会福祉学科	4	110	—	440	学士 (社会学)	1.15	平成4 年度		

理工学部					1.19		埼玉県川越市	
機械工学科	4	150	—	600	学士 (理工学)	1.15	昭和36 年度	鯨井2100
生体医工学科	4	100	—	400	学士 (理工学)	1.24	平成21 年度	
電気電子情報工学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.20	昭和36 年度	
応用化学科	4	120	—	480	学士 (理工学)	1.12	昭和36 年度	
都市環境デザイン学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.24	昭和37 年度	
建築学科	4	140	—	560	学士 (工学)	1.21	昭和37 年度	
工学部								
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和51 年度	平成21年度より学生 募集停止
コンピュータショナル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成13 年度	平成21年度より学生 募集停止
機能ロボティクス学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度	平成21年度より学生 募集停止
国際地域学部						1.14		
国際地域学科						1.09	平成9 年度	東京都文京区 白山5丁目28番20号
国際地域専攻	4	180	—	540	学士 (国際地域学)	1.16	平成22 年度	
地域総合専攻	4	110	—	330	学士 (国際地域学)	0.98	平成22 年度	
国際観光学科	4	200	—	800	学士 (国際地域学)	1.21	平成13 年度	
生命科学部						1.17		群馬県邑楽郡板倉 町
生命科学科	4	100	—	400	学士 (生命科学)	1.20	平成9 年度	泉野1丁目1番1号
応用生物科学科	4	100	—	400	学士 (生命科学)	1.13	平成21 年度	
食環境科学科	4	—	—	—	学士 (生命科学)	—	平成21 年度	平成25年度より学生 募集停止
ライフデザイン学部						1.15		
生活支援学科						1.09	平成17 年度	埼玉県朝霞市 岡48-1
生活支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援学)	1.19	平成21 年度	
子ども支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援学)	0.99	平成21 年度	
健康スポーツ学科	4	150	—	600	学士 (健康スポーツ学)	1.20	平成17 年度	
人間環境デザイン学科	4	150	—	600	学士 (人間環境デザイン 学)	1.18	平成18 年度	
総合情報学部						1.06		埼玉県川越市
総合情報学科	4	260	—	1040	学士 (情報学)	1.06	平成21 年度	鯨井2100
食環境科学部						1.09		群馬県邑楽郡板倉 町
食環境科学科						1.17	平成25 年度	泉野1丁目1番1号
フードサイエンス専攻	4	70	—	70	学士 (食環境科学)	1.18	平成25 年度	
スポーツ・食品機能専攻	4	50	—	50	学士 (食環境科学)	1.16	平成25 年度	
健康栄養学科	4	100	—	100	学士 (健康栄養学)	1.00	平成25 年度	

文学部 第2部					学士	1.03	平成25年度	東京都文京区	
東洋思想文化学科	4	30		30	(文学)	0.96	昭和31年度	白山5丁目28番20号	
インド哲学科	4	—	—	—	学士	—	昭和27年度		平成25年度より学生募集停止
日本文学文化学科	4	80	—	320	(文学)	1.03	昭和39年度		
教育学科	4	40	—	160	学士	1.01	昭和32年度		
経済学部 第2部					(教育学)	1.07			
経済学科	4	150	—	600	学士	1.07	昭和41年度		
経営学部 第2部					(経済学)	1.04			
経営学科	4	110	—	440	学士	1.04	昭和31年度		
法学部 第2部					(経営学)	1.02			
法律学科	4	120	—	480	学士	1.02	昭和34年度		
社会学部 第2部					(法学)	0.96	平成13年度		
社会学科	4	130	—	520	学士	1.00			
社会福祉学科	4	45	3年次 10	200	学士	0.79			
通信教育部					(社会学)				
文学部									
日本文学文化学科	4	1000	—	4000	学士	0.11	昭和39年度		
法学部					(文学)				
法律学科	4	1000	—	4000	学士	0.04	昭和41年度		
					(法学)				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時	届出設置のため該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<食環境科学部 食環境科学科・健康栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 食環境科学科および健康栄養学科 1 2 4 単位 基盤教育科目のうち共通教養科目における 自然・環境・生命分野 修了要件単位数指定なし 食環境科学科フードサイエンス専攻 1 2 4 単位 必修科目 3 7 単位、選択科目 2 6 単位 食環境科学科スポーツ・食品機能専攻 1 2 4 単位 必修科目 3 6 単位、選択科目 2 6 単位	学生の生命科学に関する教養を涵養するため、修了要件 単位数を設けた。 自然・環境・生命分野 4 単位 文部科学省教職課程認定委員会の指導により、必修科目 、選択科目の修了要件単位数を変更した。 (別添①「新旧対象表」参照) 必修科目 5 5 単位、選択科目 2 0 単位 文部科学省教職課程認定委員会の指導により、必修科目 、選択科目の修了要件単位数を変更した。 (別添①「新旧対象表」参照) 必修科目 4 6 単位、選択科目 2 2 単位
②取得可能な資格の一覧表 食環境科学科フードサイエンス専攻 中学校教諭一種免許状(理科) 高等学校教諭一種免許状(理科) 食環境科学科スポーツ・食品機能専攻 中学校教諭一種免許状(保健体育) 高等学校教諭一種免許状(保健体育)	「中学校教諭一種免許状(理科)」、「高等学校教諭 一種免許状(理科)」の修得が可能となった。 文部科学省教職課程認定委員会の指導により、免許状 教科の変更をした。 「中学校教諭一種免許状(理科)」、「高等学校教諭 一種免許状(理科)」の修得が可能となった。
健康栄養学科 管理栄養士(受験資格) 栄養士 栄養教諭一種免許状	「管理栄養士(受験資格)」、「栄養士」ともに取得 が可能となった。 「栄養教諭一種免許状」の修得が可能となった。
両学科 食品衛生管理者 食品衛生監視員 フードスペシャリスト	すべての学科で「食品衛生管理者」、「食品衛生監視員」 の任用資格取得が可能となった。 3 年次におけるフードスペシャリスト試験受験が可能 となるよう、現在申請中である。(公益社団法人日本 フードスペシャリスト協会と調整済み)

④情報の提供 食環境科学部は何をどのように学ぶ学部かということを広く世に周知する。	平成25年6月に「東洋大学 食環境科学部シンポジウム」を板倉キャンパスにて実施する予定である。本学部教員による研究発表・講演や特別講演、全教員によるポスターセッションとサイエンスカフェ形式による座談などを通して、企業、公的研究機関、近隣の方々、本学在校生、そして高校生を対象に、本学部の紹介と情報の提供ならびにこれからの目標などを発信する。あわせて東洋大学の歴史や沿革、学祖の教育理念などをポスター展示し、東洋大学の目指す教育研究についても発信する。
---	--

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東洋大学ではFDに関して、平成19年4月より、全学的な委員会を設置している。現在は、各学部・各研究科から1名の委員を選出して、東洋大学FD推進センター及びFD推進委員会を設置しており、同委員会内に、研修部会、大学院部会、授業改善対策部会、編集部会、授業評価手法検討部会の5部会を置き、積極的にFD活動を実施している。食環境科学部では、平成25年に『学部が掲げる理念と教育目標を実現し、教育・研究の機能的充実に図り、本活動の妥当性、有効性について継続的に検証を行う活動』を行うためFD委員会を設置した。この活動は、既存の生命科学部とともに協同で実施することにより、相互に関連性を共有しシナジー効果を図るものである。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

東洋大学FD推進委員会は毎年、年に6回程度開催しており、いずれも委員の3分の2以上の出席により会が成立している（平成25年度は24名のうち18名以上の参加）。また、委員会内の各部会についても、年に3～4回程度開催している。全学的な審議・協議・報告事項については、生命科学部・食環境科学部FD委員長が委員を招集しFD委員会の議題として扱う。また、食環境科学部教授会において委員会報告を行うとともに審議依頼などを行うこととしている。食環境科学部におけるFD委員会は、学部内から推薦された教員1名と学部長・各学科主任の計4名で組織されている。

c 委員会の審議事項等

- ・ 委員会の年次活動計画について
- ・ 部会の設置と各委員の配属について
- ・ 各種FD企画の開催について
- ・ GPA制度の導入・運用について
- ・ 全学共通の授業評価アンケートについて
- ・ 教育内容・授業技法（学習理論、授業方法、学業評価方法）のための調査、研究及び支援
- ・ シラバスの改善に関する事項
- ・ FDの啓発活動及び情報収集・提供
- ・ 教育活動改善のための教育環境の整備の検討
- ・ 学部内でのFD活動の情報交換及び調整・支援

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新入生学力調査（入試方式と入学者学力）
- ・ 各学部・研究科によるFD活動報告会や授業改善事例シンポジウムの開催（東洋大学FD推進センター主催）
- ・ 新任教員研修会の開催（東洋大学FD推進センター主催）
- ・ 各種FD関連の講演会や研修、外部主催の講演会等への情報提供、積極的参加促進

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケートについては、学部教員の専任教員が担当する授業において実施
- ・ 全学的な会合についても学内教職員全員を対象とし、組織的に取り組むプログラムとしている

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 「生物」「化学」について入学時に学力テストを実施

- ・ 外部FD研修会参加教員による研修内容の報告会実施
 - ・ 新任教員研修会やシンポジウム等の開催
 - 「ティーチング・アシスタントFD研修会」
 - ・ 講演及びワークショップ
 - ・ 平成24年4月14日開催 参加者約70名
 - 「新任教員FD研修会」
 - ・ 講演及びワークショップ
 - ・ 平成24年6月16日開催 参加者約30名
 - 「授業改善事例シンポジウム」
 - ・ 講演
 - ・ 平成24年7月21日開催 参加者約50名
 - 「一般教員FD研修会」
 - ・ 講演（全キャンパス相互配信）
 - ・ 平成24年10月19日開催 参加者約100名
 - 「学部FD活動状況報告会」
 - ・ 講演
 - ・ 平成24年12月22日開催 参加者約50名
 - ・ 各種FD関連の講演会や研修、外部主催の講演会等への情報提供、積極的参加促進
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 上記の全学的な取組の他、各学部・研究科独自のFD活動をFD推進委員会にて報告することで、各委員が学部・研究科に持ち帰り、各学部・研究科や各教員の授業改善に役立てている。
 - ・ 自己点検・評価委員会を中心に、授業評価アンケートの集計結果を分析し、授業の現状把握・改善に努めている。今後も教員の資質の向上に努める。
 - ・ 新入生学力調査を基に一部科目を習熟度別クラス編成とし基礎学力の向上に努めるほか、各教員の講義内容に反映させることにより教育効果を上げる工夫を行っている。また、平成21年4月より学習支援室を設置し、助教による学習支援を行っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- ・ 授業評価アンケートに関しては、これまでは各学部で独自に実施してきたが、平成23年度より、全学共通の授業評価アンケートの導入の検討を進め、平成24年度春学期にはFD推進委員会委員によるトライアル（7月）を、平成24年度秋学期には各学部で実施しているアンケートに代えて全学トライアル（1月）を実施した。今後は、毎学期、専任教員は2科目、非常勤講師は1科目以上を原則に実施していく予定である。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・ 授業評価アンケートの結果を各教員に返還する際、その結果に対する「授業改善レポート」もあわせて各教員に課し、授業改善に向けての動機付けを行っている。また、全学の授業改善報告会においては成果の上がった取組について報告を行っている。
 - ・ これまでは各学部で独自に公表してきたが、平成24年度秋学期の全学トライアル以降の結果については、ホームページによる結果の公表を予定している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・平成25年4月 公表済み
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上にて
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成26年度に大学基準協会の評価を受けることが決定済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
 - b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成25年5月31日)

別紙①

別紙①

新

科目区分	学 部	学 科	食環境科学部		
(フ リー・ エ ン ス)	サイ	食 環 境 科	(ス ホ・ フ ッ・ 機 能 食 品)	食 環 境 科	健康 栄 養
基 盤 教 育 科 目	共通 教 養 科 目	哲学・思想 自然・環境・生命 日本と世界の文化・歴史 現代・社会 スポーツと健康 総合 文化間コミュニケーション	4 4 6	4 4 6	4 4 6
専 門 科 目	留 学 支 援 科 目	社会人基礎科目	20～	20～	20～
小 計	必修	英語特別教育科目	55	46	31
小 計	選択必修	日本語科目	20～	22～	26～
計	選択	小 計	90～	90～	90～
計	小 計	計	124	124	124

(略)

旧

科目区分	学 部	学 科	食環境科学部		
(フ リー・ エ ン ス)	サイ	食 環 境 科	(ス ホ・ フ ッ・ 機 能 食 品)	食 環 境 科	健康 栄 養
基 盤 教 育 科 目	共通 教 養 科 目	哲学・思想 自然・環境・生命 日本と世界の文化・歴史 現代・社会 スポーツと健康 総合 文化間コミュニケーション	4 4 6	4 4 6	4 4 6
専 門 科 目	留 学 支 援 科 目	社会人基礎科目	20～	20～	20～
小 計	必修科目	英語特別教育科目	37	36	31
小 計	選択必修科目	日本語科目	26～	26～	26～
計	選択科目	小 計	90～	90～	90～
計	小 計	計	124	124	124

(略)

(略)

(略)

(別紙②) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国民全体が生涯にわたり健康的で明るく、活力ある生活を送ることが、国民個々の幸福にとどまらず社会全体の活力の維持のためにも強く求められているが、そのためには、生活習慣の改善、なかでも食生活の改善が重要である。そこで、生命科学部食環境科学科でこれまでに培ってきた生命科学の学問体系を基礎に、さらに応用発展させ、生命科学分野の幅広い知識を有し、健康と食との間をつなぐ高度な専門的知識と技術を修得した専門家を養成するため、生命科学部食環境科学科を基礎として、平成 25 年 4 月に食環境科学部を設置した。食環境科学部は食環境科学科と健康栄養学科の 2 学科体制とし、食環境科学科にフードサイエンス専攻とスポーツ・食品機能専攻の 2 専攻を設置して学科の特徴を明確にするとともに、健康栄養学科では管理栄養士を養成することとしている。

開設から 1 ヶ月が経過した現在、食環境科学部の各学科の設置目的を達成すべく、次の取り組みを実施した。

教育・研究、特に人材育成に関しては、「設置の趣旨及び必要性」に掲げている教育目標「食、栄養、健康に関して、最新の生命科学、バイオテクノロジーをもとに深く学習して、食品機能科学や食と健康をつなぐ高度な専門的知識・技術を修得するとともに、高度な倫理観を身に付け、実社会で自ら判断し、自主的、主体的に問題解決していく能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身に付けさせること」のうち、とりわけ「高度な倫理観を身に付けること」を達成するため、「生命倫理」(春学期)「生命論」「生命哲学」(秋学期)を開講し、生命の尊さ、生と死、医療や新技術の技術革新に伴う個人的・社会的な諸問題、哲学の観点から考えさせる力の涵養に努めている。

また、これらで扱う「哲学」を通して、東洋大学の建学理念である「諸学の基礎は哲学にあり」に立脚した、基本的なものの見方・考え方の涵養にも寄与することは、「実社会で自ら判断し、自主的、主体的に問題解決していく能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身に付ける」ことに結びつくものである。

さらに、食環境科学部が新たに設置されたことから、開設前に約 1800 冊に及ぶ図書を新たに整備したが、一層の充実を図るべく、追加すべき図書の選定に取り組んでいる。また、「学習支援室」を活用し、入学後の学力への不安・基礎力向上を希望する学生を対象に、助教をはじめとした専任教員による学習支援を行い、高等学校から大学の学習への円滑な移行に貢献している。とりわけ、健康栄養学科では、管理栄養士国家試験の受験資格が得られることから、合格率をあげるためには基礎・応用力の涵養が重要であり、授業支援システムを用いた効果的な学力定着の方策を検討するなど教職員が一丸となって取り組んでいる。

また、人材育成の大きな柱でもある、専任教員による大学生活と将来の進路を考えさせる科目「キャリアデザイン」や、食のグローバル化に対応出来る国際化に対しても積極的に推進している。

施設・設備等の整備計画においては、学部設置に伴う学生実験室不足、教員増による研究室・実験室不足が生じないよう事前に対応したため、問題は生じていない。

情報の提供として、本食環境科学部と生命科学部との学問領域を広く周知するため、平成 25 年 6 月に板倉キャンパスにおいて、地域企業、公的研究機関、近隣住民、在校生、入学予定者、高等学校の学生を対象に、講演会を開催する予定で準備を進めており、東洋大学の目指す教育研究について情報発信を行う。

これらの状況から、食環境科学部食環境科学科・健康栄養学科は設置の趣旨・目的の実現に向け着実に実行できていると判断している。今後とも設置の趣旨・目的の達成に向け、積極的に教育・研究活動を推進していく。